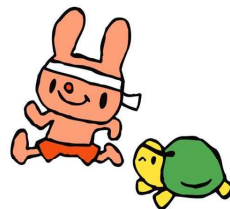


10月です。〇〇の秋ですね。

さあ、10月になりました。過ごしやすい季節になりましたね。ただ、日中と朝夕の寒暖の差はかなりありますので、子どもの体調管理には気をつけてください。さて、秋は〇〇の秋…ともいわれます。〇〇に言葉を当てはめると…スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、勉学の秋、行楽の秋など、いろんな秋がありますね。お子様と一緒に本を読むのもいいし、公園・遊園地や行楽地へお出かけするのもいいですね。児童センターもいいですよ。この過ごしやすい季節をお子様と一緒に楽しんでください。



～子育てワンポイントアドバイス～



ーおむつのはずし方ー 「おしっこ、たくさん出てよかったね。」「うんちできてよかったね。」「いい気持ちでしょう。」優しい言葉をたくさんかけてあげながら、新しいおむつにとりかえてあげましょう。子どもが新しいおむつにとりかえたことに心地よさを感じてくれるようになっていいですね。また、オマルに座らせておしっこができたらほめてあげましょう。何度も繰り返すうちに、オマルでの排泄にも慣れていきます。おむつやパンツを汚したことを叱らずに優しく声かけしながら励ましてあげるのがポイントです。



ー「母乳・ミルク」から「離乳食」へー 「離乳を始める時期はいつからですか？」良くお母さんからの質問を受けます。その時期は生後5～6ヶ月ぐらいからといわれますが、離乳の時期は赤ちゃんのタイミングやペースによって決まります。お母さんはしっかり赤ちゃんのサインをくみ取ってください。離乳をスタートさせる際のポイントは、

- ① 首が据わっていること。
- ② 支えてあげると座ることができること。
- ③ 食べ物に興味を示すようになること。

基本的に上記の3つができるようになっていたら離乳を始めてもいいでしょう。

～離乳食を与える三つの大切なこと～

- ア 消化のいい物を軟らかい形で
- イ 始めは少しづつ。食べるといって、たくさんあたえない
- ウ 一度いやがっても、あきらめない

お母さんに好き嫌いがあると、子どもに与える物に片寄りが生まれます。お母さんの好き嫌いをなくしましょう。離乳開始は、味付けなしで出汁で煮るだけでOKです。

[離乳とは…赤ちゃんが母乳やミルク以外のものを口に入れられるようになること。]



～ 子育て支援センター「でんでんむし」の9月のイベントから ～

「絵本のよみきかせ」 7日

子どもたち、安藤先生、吉岡先生のお話をしっかりと聞いていました。終わりに本の紹介と、親子で読み聞かせをしました。

「子育てイベント」 15日

佐賀女子短期大学の小島菜実絵先生、松浦朋美先生を講師として、「とりわけで手間なし離乳食」という内容で、食育イベントを開催しました。普段の食事の材料を取り分けて、実際に離乳食を作りました。子どもたちもお母さんの手作りの離乳食をおいしくいただきました。参加者からは、「大人の分から取り分けて調理できて参考になった。」「自分では思いつかない料理を教えていただいてレシピももらったので家でも作れるのでよかった。」など好評でした。

今日のメニュー

- 5日 ママカフェ
- 12日 子育て講話
 - ・演題:子ども一人ひとりを大切にしたい関わり方
 - ・講師:佐賀女子短期大学 大村綾先生
- 24日 おたんじょうびおめでとう ※児童館と合同
 - ※全ての講座、イベントで託児あります。

☆連絡先:多久市児童センター内「子育て支援センター」☆
[Tel 0952-37-1117](みんな・いっしょに・いいな)